

医学科入学試験（二次試験）について

受験生の皆さんへ

本学では、アドミッションポリシーに掲げられているように、多様な能力を可能な限り公正に評価するため、今年度から二次試験の方法を変更します。

面接

個人面接と MMI(multiple mini interview)とで面接を行います。MMI とは複数の課題を用いた面接試験のことを言います。MMI では、自分の考えを表現する能力、社会における自分の役割を考える能力、知識を基に状況を理解してどのような行動が適切か判断する力、論理的思考力などについて評価するために、評価者と受験生が1対1で話し合いをする対話形式の面接をします。一人あたり異なる4課題が課されますが、課題は随時変えていきます。受験生は個人面接とMMI 4課題とで5名の評価者と会い、合計5つの面接を行います。1つの面接につき7分で、移動時間を含めて面接に要する時間は約40分となります。段階評価を行います。面接試験のテクニックを問うものではありません。

東京慈恵会医科大学は、多様な医師を輩出したいと考えています。「自分」を大事にする人は、「他者」の価値を認める方だと考えています。

小論文

面接後に小論文を書いていただきます。自分でしっかり物事を考え、その考えを他者に分かりやすく伝えようとする力、さらに、今自分が持っている知識を基に状況を理解して判断する力を評価します。課題文を読んで、そこから各自が自由に一つのテーマを選び、なぜそのテーマを選んだのかを説明し、その後にテーマについて論じていただきます。読み手にわかりやすいように書いてください。課題文は随時変えていきます。小論文は、1,200字以上2,400字以内で、時間は60分以上120分以内とします。受験生には清書用（提出用）の用紙以外にも下書き用の用紙（回収します）もお渡しします。段階評価を行います。小論文の受験技法を問うものでも、国語の試験でもありません。

東京慈恵会医科大学は、世界でたった一人の「自分」が考えたことを「他者」に伝えようと努力する人を求めています。

2016年11月10日掲載